

旧車バイク市場における価値形成と価格高騰の要因分析

1250465 世良大海

指導教員 林 一夫

研究背景

近年、日本のバイク市場は再び活性化し、中古バイク市場の成長が特に顕著である。中でも、中古バイクは手ごろな価格やヴィンテージバイクなど初心者やコレクターに支持される一方で、高額で取引される中古バイクも存在する。さらに、従来とは異なる価格決定プロセスが進行している。

研究目的

本研究では、バイクブームと中古車バイク市場の価格高騰要因を分析し、中古市場における価格形成メカニズムを解明し、バイク市場の特性を深く理解する。

研究方法

需要と供給のメカニズムを踏まえ、バイクブーム発生要因を分析するべく、バイク専門店へのインタビュー調査や文献調査を行う。

中古バイクの価格高騰に関しては、バイク専門店やオンラインオークション、SNS など流通する中古バイクの価格データを収集し、その傾向を分析する。また、ウイスキー、ロレックスの時計など高額で取引される事例を中心に、中古車バイクと比較し、価格に影響を与える要因を抽出する。

分析結果

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、アウトドアブームやビンテージブームが注目されるようになり、その影響でバイクブームが発生した。また、二次市場価格指数では、他の趣味性のある製品に比べて、旧車バイクの価格のみ異常な上昇具合を記録し、特異な現象であった。中でも特にバイクには感情的価値が大きく関係しており、市場価格を更に押し上げる要因であることが明らかになった。

考察・結論

バイクブームには、コロナを中心としたビンテージブームやアウトドアブームが絡み合っていることが分かった。さらに、旧車バイクの価格高騰は、需要と供給のバランスに加え、感情的価値の高まりや 2 次市場の発展が影響している。旧車バイクは単なる移動手段だけでなく、所有することでの感情的な満足を提供している。また、メルカリやヤフオクといった二次市場の普及により、個人間での取引が容易になり旧車バイクの稀少性が更に強調された。このことから、バイク市場は趣味趣向の変化や二次市場の活性化、感情的価値が複雑に絡み合った独自の市場を形成していることが明らかになった。